

かみおおぶちこすけ すず
上大淵小助の清水

鮭川村大字川口

～平成29年度選定～



里の名水・やまがた百選



鮭川村役場から約500m南下すると、右手に上大淵という40戸程の集落がある。その外れに湧水があり、江戸時代から利用されてきた。地元の方々の生活に密着した貴重な存在であったのであろう。時代の流れと共に歩んできた湧水である。



〔管理者〕八鍬健助 〔保全団体〕八鍬健助ほか

歴史や利活用

地区の方々以外にはほとんど知られていないが、米作りや約50年前までは米酢の醸造にも用いられており、現在も夏場には野菜や果物を冷やしたり、漬物の保存のために使用されている。

アクセス

(北緯 38.786472°、東経 140.217750°)

鮭川村役場からすぐの国道458号線を南下すると、1km程で上大淵の集落に着く。右手に集落に入る道があるので、さらに300mほど道なりに進み、集落が途切れる十字路を左折すると、右手に「上大淵小助の清水」の看板がある。湧水前の道路の交通量は少ないが、駐車場はなく、駐車の際は十分に注意が必要である。



近くの見どころ

- <やまがた百名山> ◆ 米太平山
- <日本一の滝王国山形> ◆ 湯沢の滝、大滝、白猿の滝 (鮭川村大字川口)
- <やまがた景観物語> ◆ 古の動植物と語るう米湿原の眺め

清らかで水量豊かな湧水が県内各地に点在し、大地や人、草木に潤いを与えています。県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域の活性化や観光誘客につなげていきます。

また、本県は「自然が豊富で水がいい」強みを活かし、質の高い県産品をお届けすることができます。

